

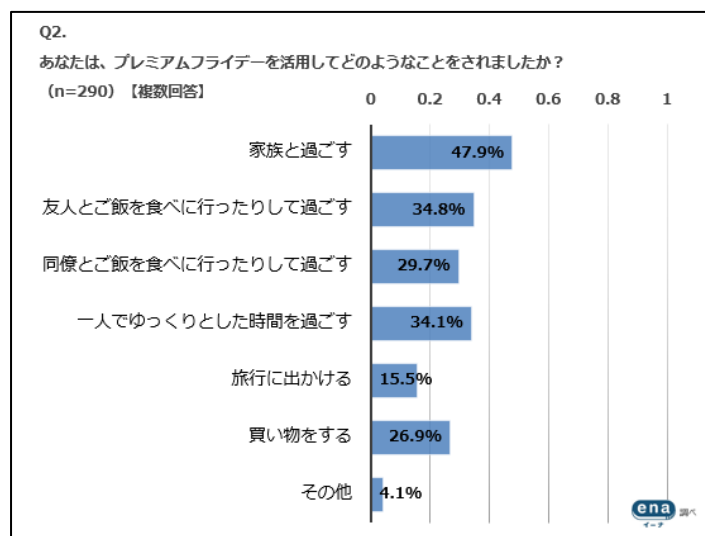
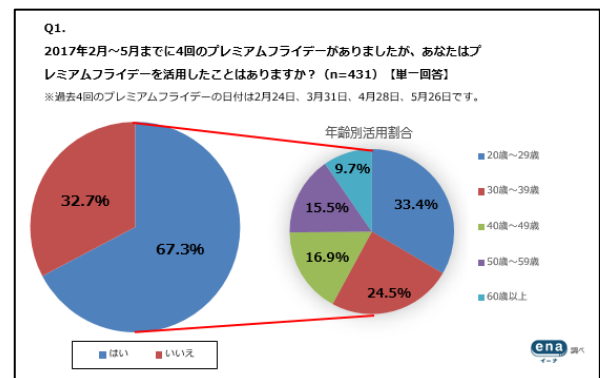
“便利で賢い旅”を提供する、総合旅行サイト「ena（イーナ）」
ボーナス時期のプレミアムフライデー活用意向の実態を調査

“6月・7月ボーナス×プレミアムフライデー”での海外旅行意向は47%以上で、全体の過半数近くに

便利で賢い旅を提供する、総合旅行サイト ena を運営するエアプラス株式会社（本社：東京都港区/代表取締役社長：岡田 健/以下 エアプラス）は2017年6月末に、経産省が経団連などと連携して推進する消費喚起策「プレミアムフライデー」の導入企業で働いている431名を対象にアンケートを実施しました。**6月・7月は、プレミアムフライデーが導入されて初めてのボーナスタイミングです。**本アンケートでは、「ボーナス」と「プレミアムフライデー制度」の活用状況や今後の活用意向の実態に迫りました。

① **プレミアムフライデー活用割合、年代によって最大20ポイント以上の差に。**

20代から60代のプレミアムフライデー制度導入企業で働いている431名に対し、過去4回のプレミアムフライデーの活用有無について聞いたところ、67.3%が「はい」と回答しました。年代ごとに「はい」と回答した割合を比較したところ、20代が33.4%、30代が24.5%、40代が16.9%、50代が15.5%、60代が9.7%となり、20代が最も高い結果となりました。なお、年代が下がるほど、活用者割合が高くなる傾向が現れます。



具体的な活用情報を探るため、Q2で活用用途について聞いたところ、「家族と過ごす」と回答した割合が最も多く、全体の47.9%でした。また、「友人とご飯を食べに行ったりして過ごす」が34.8%、「一人でゆっくりとした時間を過ごす」が34.1%となり、僅差で続きました。その他の回答（有効回答数=10）としては、「仕事」や「バイト」といった回答や、「岩盤浴」や「医者に行く」といった回答もありました。

なお、Q1 で「はい」と回答した男女の割合を比較すると、男性が 56.9%、女性が 43.1%となり、男性の方が 13.8 ポイント高い結果となりました（左下図）。地域別で比較すると、関東地方が 2 番目に多い近畿地方と 40 ポイントの差をつけ、56.6%と過半数を占めました（右下図）。

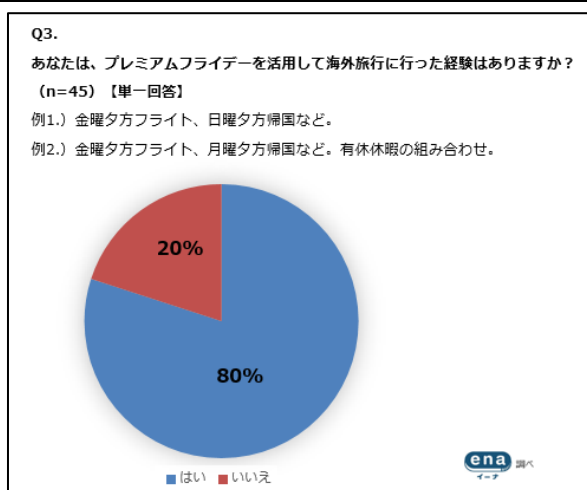
Q1 年齢	全体		はい		いいえ	
	n	割合	n	割合	n	割合
20歳～29歳	123		97	33.4%	26	18.4%
30歳～39歳	101		71	24.5%	30	21.3%
40歳～49歳	81		49	16.9%	32	22.7%
50歳～59歳	78		45	15.5%	33	23.4%
60歳以上	48		28	9.7%	20	14.2%
	431		290	100%	141	100%

地域	n	割合
北海道地方	5	1.7%
東北地方	7	2.4%
関東地方	164	56.6%
中部地方	43	14.8%
近畿地方	48	16.6%
中国地方	11	3.8%
四国地方	3	1.0%
九州地方	9	3.1%
	290	100%

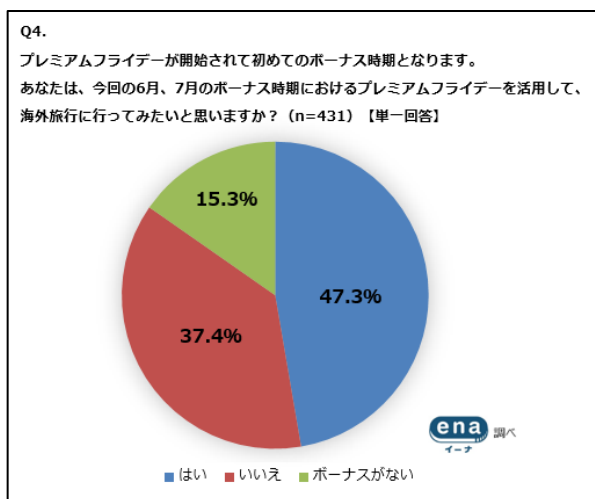
② “ボーナス×プレミアムフライデー”での海外旅行意向、47%以上で過半数近くに。

次に、プレミアムフライデーを活用しての旅行消費意向について聞いてみました。Q2 で、プレミアムフライデーに旅行消費を経験した人に対し、海外旅行活用の有無を聞いたところ、全体の 80%が「はい」と回答しました。このことから、海外旅行消費が全体の 80%、国内旅行消費が全体の 20%と、プレミアムフライデーの旅行消費においては、海外旅行消費が国内旅行消費よりも高く、60 ポイント上回っていることが分かります。

また、年代ごとに「プレミアムフライデーにおける旅行消費」の内容を比較したところ、国内旅行消費は、年代での活用割合に大きな違いは見られませんでした。一方で、海外旅行消費は、20 代が 58.3%、30 代が 30.6%と、20 代と 30 代だけで全体の 80%以上を占める結果となりました。40 代が 16.9%、50 代が 15.5%、60 代が 9.7%となり、20 代が最も高い結果となりました（右図）。



Q3	全体	はい（海外旅行消費）		いいえ（国内旅行消費）	
年齢	n	n	割合	n	割合
20歳～29歳	23	21	58.3%	2	22.2%
30歳～39歳	13	11	30.6%	2	22.2%
40歳～49歳	4	3	8.3%	1	11.1%
50歳～59歳	3	1	2.8%	2	22.2%
60歳以上	2	0	0.0%	2	22.2%
	45	36	100%	9	100%

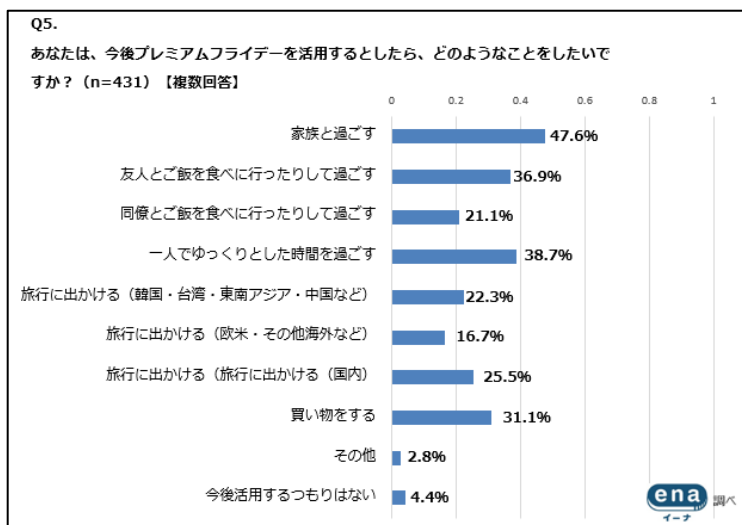


今年の 6 月・7 月は、プレミアムフライデーが導入されて初めてとなるボーナスタイミングです。そこで Q4 では、今回のボーナスタイミングでのプレミアムフライデーを活用した海外旅行意向について聞きました。今年のボーナスとプレミアムフライデーを活用して海外旅行に行ってみたいと回答した人は、全体の 47.3%（204 人）となりました。過半数近くが、初めてボーナスとプレミアムフライデーが重なる今回、海外旅行に行ってみたいと考えていることが覗えます。

③ プレミアムフライデーでの旅行消費意向、国内→アジア→欧米の順に。

最後に、Q5にて、対象者全員に今後のプレミアムフライデーの活用意向について聞いてみました。Q2の、実際のプレミアムフライデー活用内容と比較してみると、「家族と過ごす」といった活用途は変わらず最も割合が高かった。続いて、「一人でゆっくりとした時間を過ごす」が38.7%、「友人とご飯を食べに行ったりして過ごす」が36.9%となりました。

さらに、右図内中央のように旅行消費意向を「韓国・台湾・東南アジア・中国など」「欧米・その他海外など」「国内」の3つの地域で細分化したところ、Q2では「同僚とご飯を食べに行ったりして過ごす」が「旅行にでかける」よりも約20ポイント高かったものの、Q5の今後のプレミアムフライデー消費意向では、「韓国・台湾・東南アジア・中国など」や「国内旅行」などの旅行消費意向が「同僚とご飯を食べに行ったりして過ごす」を上回りました。



『ena』では、例年6月～7月のボーナス支給時期から海外旅行の予約が増加する傾向にあります。しかし、今年はこのタイミングとプレミアムフライデーが重なった為、昨年と比較して、5月頃から徐々に海外旅行予約が増えている傾向がありました。とりわけ20代～30代の若い世代の予約が多いのは、今回のアンケート結果とも一致します。ena場合、加えて40代～50代の予約も割合も伸びていますよ。通常、宿泊を伴う旅行は、夏休み等の長期休暇をのぞけば、2泊3日までが一般的ではないでしょうか。プレミアムフライデーは、【半日早く出発することで、土日を旅先でゆっくり過ごす】のがメリット。週末のショートトリップ的な要素も考えられるため、日本国内や韓国・台湾など近場のスポットは特に注目されます。旅行意欲が高い20代～30代の若い世代の皆様、行きたくなる旅を提案していきたいですね。

(「ena」仕入・マーケティングチーム主任玉越氏コメント) 」

enaでは、直前予約ができるプレミアムフライデープランもあります。(http://www.ena.travel/special/premium_friday/)

調査概要

- 調査方法：インターネットリサーチ
- 実施期間：2017年6月27日(木)～2017年7月3日(月)
- 調査対象 居住地：全国
 - 性別：男女
 - 年齢：20代～60代
 - 職業：会社員(プレミアムフライデーを導入している企業に勤める会社員)
 - 人数：431サンプル

■ 設問：

Q1. 2017年2月～5月までに4回のプレミアムフライデーがありましたが、あなたはプレミアムフライデーを活用したことはありますか？

(過去4回のプレミアムフライデーの日付は2月24日、3月31日、4月28日、5月26日です。)

- 1.はい 2.いいえ

Q2.Q1.で『1.はい』と答えた方に質問です。あなたは、プレミアムフライデーを活用してどのようなことをされましたか？

(過去4回のプレミアムフライデーの日付は2月24日、3月31日、4月28日、5月26日です。)

- 1.家族と過ごす 2.友人とご飯を食べに行ったりして過ごす 3.同僚とご飯を食べに行ったりして過ごす
4.一人でゆっくりとした時間を過ごす 5.旅行に出かける 6.買い物をする 7.その他 ()

Q3.あなたは、プレミアムフライデーを活用して海外旅行に行った経験はありますか？

- 例 1.) 金曜夕方フライト、日曜夕方帰国など。
例 2.) 金曜夕方フライト、月曜夕方帰国など。有休休暇の組み合わせ。

- 1.はい 2.いいえ

Q4.プレミアムフライデーが開始されて初めてのボーナス時期となります。あなたは、今回の6月、7月のボーナス時期におけるプレミアムフライデーを活用して、海外旅行に行ってみたいと思いますか？

- 1.はい 2.いいえ 3.ボーナスがない

Q5.あなたは、今後プレミアムフライデーを活用するとしたら、どのようなことをしたいですか？

- 1.家族と過ごす 2.友人とご飯を食べに行ったりして過ごす 3.同僚とご飯を食べに行ったりして過ごす 4.一人でゆっくりとした時間を過ごす
5.旅行に出かける (韓国・台湾・東南アジア・中国など) 6.旅行に出かける (欧米・その他海外など) 7.旅行に出かける (国内)
8.買い物をする 9.その他 () 10.今後活用するつもりはない

エアプラス株式会社について

- ・名称 : エアプラス株式会社
- ・本社 : 東京都港区新橋 2-12-15 田中田村町ビル 2 階
- ・設立 : 1993 年 (平成 5 年) 7 月 30 日 (グループ創業 1989 年 (平成元年))
- ・代表者 : 代表取締役社長 岡田 健
- ・資本金 : 2 億 8,185 万円 (資本準備金 1,285 万円) 2017 年 6 月現在
- ・URL : <http://www.airplus.co.jp/>

【本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先】

エアプラス株式会社 PR 事務局 (アウル株式会社内)

TEL : 03-5545-3888 FAX : 03-5545-3887 MAIL : airplus-ml@aur.co.jp